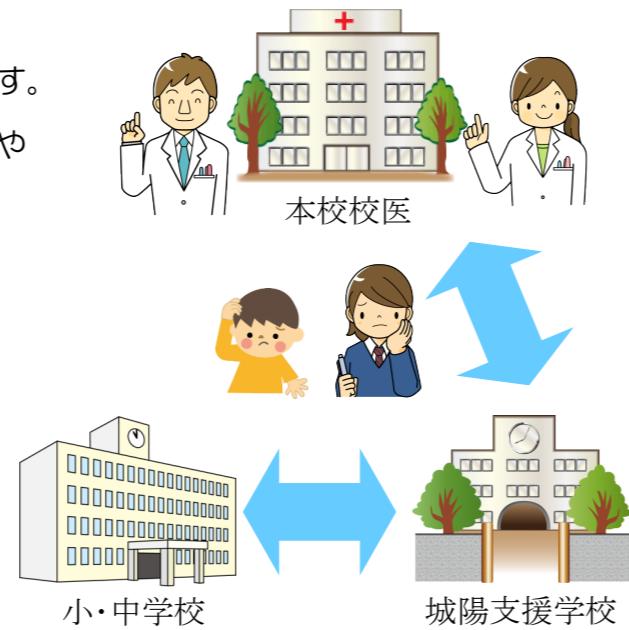


通級の手続きは

- 本校校医より「本校の通級による指導が適切である」と判断された児童生徒を対象としています。
- 校医の判断の後、本校病弱教育部の教員が保護者や児童生徒と教育相談、通級の体験等を行います。
- その後、通級が適切かどうかを本校が判断し、地域の小・中学校を通じて、保護者にお知らせします。
- 通級指導が難しい場合は、ケースにより地域支援センター「サポートJOYO」での相談を、また、南京都病院への入院を考えておられる場合は、病弱教育部の学校見学を行うこともあります。



京都府立城陽支援学校

病弱通級指導教室



通級指導の開始から終了まで

- (開始) ・地域の小・中学校を通じて、保護者と市町（連合）教育委員会に通級開始決定連絡をします。
 ・保護者、本人と懇談し、実施日や時間、内容等を検討、実施します。
- (通級中) ・通級による指導を行い、定期的に地域の小・中学校に状況を報告します。
- (終了) ・原則として、指導開始6ヶ月をめでに終了します。
 ・指導期間6ヶ月が年度をまたぐ場合は、本人、保護者、地域の小・中学校の意向、医師の助言等を踏まえ、年度末で終了か次年度継続かを決定します。
 ・通級による指導を終了する場合は、地域の小・中学校を通じて、保護者と市町（連合）教育委員会に通級終了連絡をします。

～地域でかがやき、はばたくために～

〒 610-0113

京都府城陽市中芦原1-4

TEL:0774-53-7100

FAX:0774-53-4044

E-mail : jyouyou-s@kyoto-be.ne.jp

http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/

通学の方法・経費等

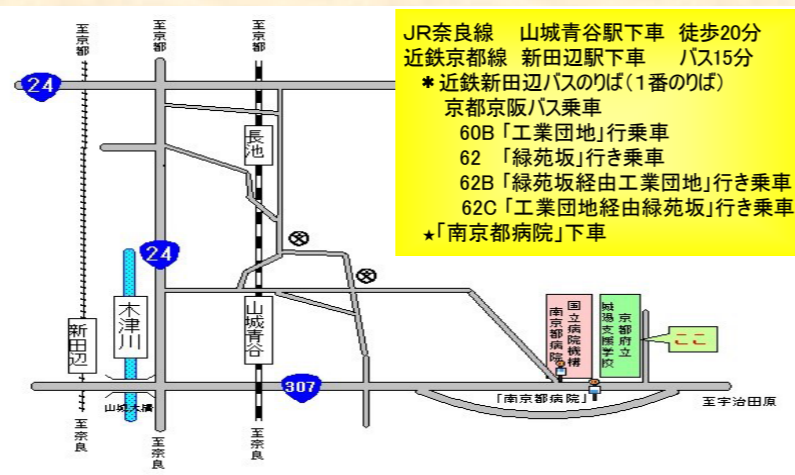
本校へは、保護者とともに通学することになります。

通学の途上での本人の事故については、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象となります。

授業料は不要ですが、交通費や教材費等は必要です。交通費は保護者の所得に応じて、申請することにより、就学奨励費が給付される場合もあります。



城陽支援学校へのアクセス



教育相談は 地域支援センター「サポートJOYO」

学習と治療の両立 病弱教育部「きっと」

病気や障害、発達、教育、就学に関する悩みごと等の相談や支援を府内全域を対象に行っています。

電話や来校にての不登校相談や研修支援、学校等への巡回相談を行っています。

慢性疾患、心身症等で（独）南京都病院に入院している小・中学生の教育を行っています。小・中学校と同じ学習と、自立活動（自分の病気のことを知る学習、ソーシャルスキル等の学習）の学習を行っています。

通級の対象の子ども

病弱及び身体虚弱の児童生徒の通級指導教室です。

- 本校校医（小児科医、精神科医）に診察等を受け、「通級による指導が適切である」と判断された児童生徒
- 病弱又は身体虚弱の程度が、通常の学級におおむね参加できるが、一部特別な指導を必要とする児童生徒
- 京都府山城教育局管内の小・中学校の在籍で本校に通級できる児童生徒

上記の3つ全てを満たし、学校に登校できていない状態が続いている小・中学生が対象となります。

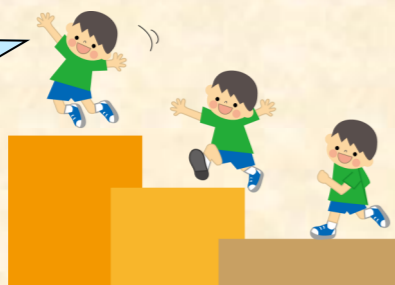
本校の通級指導教室で力をつけ、地域の小・中学校で学校生活が元気に送れることをねらいとしています。

「こんな力をつけたい」

児童生徒をサポートします。

- 病気のことを知りたい。
- 自分の食生活を見直したい。
- 体調管理をして、生活リズムを立て直したい。
- 身体も心も元気になって、学校に登校したい。
- 元気になって、クラスの友達と仲良く話しができるようにになりたい。
- 身体がしんどくなったり、気分がイライラすることを自分で調整できるようにになりたい。
- 自分にあった学習の方法を知りたい。

自信をつけて
ステップ
アップ!



<病気についての学習>

喘息、アトピー性皮膚炎、肥満症、腎炎などの慢性疾患等について、病気について知り、学校や家庭の生活の中で自分にできることを学習します。

<肥満症の場合>

- ①睡眠や生活リズムを振り返る。
- ②自分の食生活を振り返る。
- ③食べ物で摂ったエネルギーについて知る。
- ④食べ物の栄養について知る。
- ⑤運動の大切さやストレスをためない方法について学ぶ。

など



こんな学習をします

<自己理解、ストレスの対処法などの学習>

「自分の感情」に気づき、「自らの意思でコントロールする方法」「自分らしい表現方法」や「ストレスをうまく緩和させる方法」について学習します。

- ①自分を知る。
（気持ちや行動について）
- ②感情について考える。
（喜び、怒りなど）
- ③ものの受け取り方や考え方のバランスをとってストレスを小さくする。
- ④呼吸やからだを使ってリラックスの仕方を学ぶ。
- ⑤得意なことや趣味を通して自信をつける。

など



<コミュニケーション、人間関係、ソーシャルスキルの学習>

対人関係上必要となる行動のコツや良好な人間関係をつくるためのスキルについて学習します。

- ①上手な会話の仕方について学ぶ。
- ②上手な聞き方、答え方を学ぶ。
- ③言いたいことをうまく伝える方法を知る。
- ④場に応じた態度や服装、表情や話し方、人との距離感などを身につける。
- ⑤グループで会話をし、ゲームをする。

など



<読み・書き・計算の方法についての学習>

自分にあった学習のやり方を具体的に身につけていけるように学習方法を考えます。

- ①迷路の図などを使ってものを見る練習をする。
- ②漢字の「へん」を色を変えて書く。
- ③定規をつかって、行ごとに本を読む。
- ④パソコンでローマ字入力をする。
- ⑤マス目のあるノートで計算をする。

など



学習の時間

児童生徒の状態や課題に応じて週1回程度45分～90分、個別又は少人数のグループで行います。

少人数のグループでの学習は、ゲーム等の楽しい活動を行う場合もあります。



※ 通級指導教室で学習を受けた日については、「出席扱い」となるように、地域の小・中学校と本校で連携していきます。